

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

＜試料・情報の利用目的及び利用方法＞

●研究の名称

人間ドックの骨密度検査における大腿骨近位部 DXA 追加の有用性

●研究の対象

2021 年 4 月 1 日から 2025 年 1 月 31 日に京都第二赤十字病院人間ドックにおいて、DXA を受けた患者さんを対象とします。

●研究の目的

当院人間ドックでは、骨密度検査は腰椎 DXA（Dual Energy X-ray Absorptiometry；二重エネルギー X 線吸収測定法）をオプションとしてきましたが、腰椎と大腿骨近位部では結果が大きく異なることがあります。そのため、腰椎単独では不十分と考え、「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン 2015 年度版」に則り、2024 年 4 月 1 日から大腿骨近位部測定を追加し 2 部位 DXA を開始しました。

今回、人間ドックで骨密度測定オプション追加が望ましい患者像の把握と生活指導の質の向上のため、人間ドックの骨密度検査における大腿骨近位部 DXA 追加の有用性について検討することとしました。

●研究の期間

研究機関の長の実施許可日から 2025 年 8 月 31 日まで

●研究の方法

日常診療時に得られる下記の＜利用する試料・情報の項目＞について調査します。

＜利用する試料・情報の項目＞

●試料：なし

●情報： DXA 腰椎・大腿骨近位部、BMI（体格指数）、運動習慣（1 日 30 分以上軽く汗をかく運動を週 2 回以上 1 年以上実施）、身体活動（日常生活において歩行又は同等の身体活動を 1 日 1 時間以上実施）

なお、利用する上記の試料・情報からはお名前、住所など、患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。

＜利用を開始する予定日＞

研究機関の長の実施許可日

《利用する者の範囲》

●研究機関名および研究責任者名

京都第二赤十字病院 健診部 部長 西大路 賢一

《試料・情報の管理について責任を有する者の名称》

京都第二赤十字病院 院長

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（試料・情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

研究機関：京都第二赤十字病院

担当者：健診部 部長 西大路 賢一

住所：〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355 番地の 5

TEL：075-231-5171（代表）